

アナログ通信機能の使いかた



受話器を上げる



受話器を置く

「参照」はユーザズマニュアルのページ番号です。

項 目	操 作 手 順	参 照
電話をかける	- 電話番号 -	P. 63
サブアドレスを指定して電話をかける	- 電話番号 - - サブアドレス -	P. 63
短縮ダイヤルで電話をかける(短縮ダイヤル)	- - 短縮番号(00~39)	P. 63
同じ相手にかけ直す(リダイヤル)	- -	P. 64
内線で話しをする	- -	P. 64
電話を受ける	着信音が鳴ったら - - お話しする	P. 65
外線を外線に取り次ぐ(外線転送)	【内線通話するとき】 お話中に → 1回フッキング → - 相手とお話し -	P. 65
	【内線通話しないとき】 お話中に → 1回フッキング → -	P. 65
コールウェイトイング	お話中に「ビッピ、ビッピ…」という着信音が聞こえたら → 1回フッキング → 後からかけてきた相手とお話し → 1回フッキング → → 最初の相手とお話し	P. 66
通話中の電話を別の相手に転送する(通話中転送)	お話中に → 1回フッキング → → 電話番号 → 相手とお話し → 1回フッキング → →	P. 66
3人で話す(三者通話)	お話中に → 1回フッキング → → 電話番号 → 相手とお話し → 1回フッキング → → 3人でお話し -	P. 67
コールバック機能を利用する	【外から電話をかける】 TEL 1/2ポートの電話番号 → 呼出音4回以内に受話器を置く → 呼出音が鳴ったら → - お話しする	P. 68
	【TEL 1/2ポート側の電話機で受ける】 呼出音が2回以上鳴ったら → → 呼出音が鳴る → 応答があれば、お話しする	P. 68
中継機能を利用する(中継許可指定)	- TEL 1/2ポートの電話番号 - → 相手先の電話番号 → 応答があれば、お話しする	P. 69
INSボイスワープ・ダイヤル Q2パスワード機能を利用する	- 電話番号 → ガイダンスに従って操作 -	P. 69
なりわけサービスを利用する	- 電話番号 → ガイダンスに従って操作 -	P. 70
通話中に別の電話機に移動する(通信中機器移動)	【通話を中断する】 通話中に → 1回フッキング → → 識別番号(0~9) -	P. 70
	【通話を再開する】 - - 「通話を中断する」で押した識別番号(0~9) - → お話しする	P. 70
ダイヤルを押し間違えたとき	ダイヤル中に → 1回フッキング	P. 63

アナログ通信機能の設定のしかた

- アナログ通信機能の設定をするには、受話器を上げて「ツー」という発信音を確認してから、以下の操作手順にしたがってください。
- ダイヤルを押し間違えたときは、1回フッキングしてから操作をやり直してください。
- 正しく設定されると、操作を終えたときに「ピピピ」という音が聞こえます。このときは受話器を置いてください。「ピピピ」という音が聞こえないときは、正しく設定されていません。1回フッキングしてから操作をやり直してください。
- 設定が終了したら、設定を有効にするために、必ず保存作業をしてください (⑨→✳→⑦)。
- 通話中および通信中は、設定や保存はしないでください。

項 目		操 作 手 順	参 照
短縮ダイヤルを登録する		① → ✳ → 短縮番号(00～39) → 電話番号(市外局番から) → ⑦	P. 49
ナンバーディスプレイの使用有無を設定する		① → ✳ → ⑥ → ① 使用しない ① 使用する (起動信号:0.5秒) ② 使用する (起動信号:0.65/0.35秒)	P. 49
コールバック機能を設定する		① → ✳ → ① コールバックしない ① 相手番号が登録されている場合のみ、コールバックする ② 相手番号が登録されているとき、または発信者番号通知のない場合もコールバックする	P. 68
中継機能を設定する		① → ✳ → ③ → ① 中継機能を利用しない ① 任意の電話番号を中継する	P. 69
着信転送設定	着信転送先を登録する	② → ✳ → ② → 電話番号(市外局番から) → ⑦	P. 50
	着信転送機能を有効/無効にする	② → ✳ → ① 着信転送しない ① 着信転送する	P. 50
	呼出ベル回数を設定する	② → ✳ → ③ → 呼出ベル回数(0～9: 0)	P. 51
	転送トーンを設定する	② → ✳ → ④ → ① 転送トーンなし・転送元トーンなし ② 転送トーンあり・転送元トーンなし ③ 転送トーンなし・転送元トーンあり ④ 転送トーンあり・転送元トーンあり	P. 51
	暗証番号を登録する	② → ✳ → ⑤ 着信転送設定用の暗証番号 → 暗証番号(0000～9999) ⑥ 着信転送解除用の暗証番号	P. 52

「参照」はユーザズマニュアルのページ番号です。お買い求め時は に設定されています。

項 目		操 作 手 順	参 照
フリー転送を設定する		② → * → ⑦ → ① フリー転送禁止 ① フリー転送許可1(転送失敗時、発信者に切断音を通知する) ② フリー転送許可2(転送失敗時、発信者にアナウンスを通知する(有料)) ③ フリー転送許可3(転送失敗時、または転送相手が30秒以内に 応答しないときは、このポートを呼び出す)	P. 52
追っかけ転送を設定する		② → * → ⑧ → 電話番号(市外局番から) → #	P. 53
着信種別を設定する		③ → * → ① 着信禁止 ① 着信許可 ② 通信中着信許可 ③ 追加呼出許可 ④ 通信中着信許可・追加呼出許可 ⑤ 通信中着信許可・追加呼出許可・通話中追加呼出許可	P. 53
発信者番号通知を設定する		④ → * → ① 発信者番号を通知しない ① 発信者番号を通知する ② 発信者番号の通知は契約による	P. 54
グローバルセレクト／ダイヤルイン	ダイヤルイン番号のみ着信する	⑤ → * → * → ダイヤルイン番号 → #	P. 54
	ダイヤルイン番号・契約者回線番号で着信する	⑤ → * → ダイヤルイン番号 → #	P. 55
	契約者回線番号のみ着信する	⑤ → * → * → #	P. 55
	ダイヤルイン番号のチェックをしない	⑤ → * → #	P. 55
サブアドレス	サブアドレスのみ着信する	⑥ → * → * → サブアドレス → #	P. 55
	サブアドレスありとサブアドレスなしを着信する	⑥ → * → サブアドレス → #	P. 56
	サブアドレスなしのみ着信する	⑥ → * → * → #	P. 56
	サブアドレスのチェックをしない	⑥ → * → #	P. 56
機器種別を設定する		⑦ → * → ① 電話・FAX・モデムのいずれも着信 ② 電話のみ着信を許可 ③ FAXのみ着信を許可	P. 56
ダイヤル完了タイマを設定する		⑧ → * → タイマ値(0～9秒: 4秒)	P. 57

「参照」はユーザズマニュアルのページ番号です。お買い求め時は に設定されています。

項 目	操 作 手 順	参 照
通話時のボリュームを調整する	⑨ → * → ① → ① 小 ① 大	P. 57
追加呼出遅延(ベル回数)を設定する	⑨ → * → ① → ベル回数(0~9: ①)	P. 58
フッキングを設定する	⑨ → * → ② → ① フッキングを無効にする ① フッキングを有効にする ② 通信中発信のみ無効にする	P. 58
内線呼出ベルを設定する	⑨ → * → ③ → ① 外線呼出ベルと同じ ① 短いサイクル	P. 59
切断音制御を設定する	⑨ → * → ④ → ① 無音のまま ① 切断音を流す	P. 59
識別着信を設定する	⑨ → * → ⑤ → ① しない ① 短縮登録 ② 短縮登録・INSなりわけ ③ 発信者番号通知・INSなりわけ ④ 短縮登録・INSなりわけ・公衆電話 ⑤ 発信者番号通知・INSなりわけ・公衆電話 ⑥ INSなりわけ以外の発信者番号通知拒否以外	P. 60
FAX無鳴動着信を設定する	⑨ → * → ⑥ → ① FAX無鳴動着信を禁止 ① 着信時のHLCがFAXのときのみ許可 ② FAX無鳴動着信を許可 ③ 契約者回線番号のみ許可 ④ ダイヤルインのみ許可	P. 60
ベル周波数を設定する	⑨ → * → ⑦ → ① 16.7Hz ① 20.0Hz ② 25.0Hz ③ 33.3Hz	P. 61
発信者番号優先着信を設定する	⑨ → * → ⑧ → ① 設定しない ① 設定する	P. 61
疑似なりわけを設定する	① → * → ⑤ → ① 使用しない ① 使用する	P. 62
設定した内容を保存する	⑨ → * → #	P. 62